



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



教区の日の変更を公表

中野司教「知牧区から司教区への昇格の日が相応しい」

鹿兒島教区の現司教座教会である3代目ザビエル教会が献堂されたのは1999年9月15日のこと。聖フランシスコ・ザビエルの渡来450年祭に合わせてのことだった。

以来、教区ではこの「鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂」の献堂記念日を「教区の日」と位置づけ、記念ミサをささげ、また教区の主だった行事を挙行してきた。

この度、中野裕明司教は「教区としては、使徒座知牧区から司教区に昇格した日を教区の日として記念するのが相応しい」と判断し、今年から2月25日を教区の日として祝うこととした。

2月11日は 世界病者の日

聖ヨハネ・パウロ2世教皇は、1984年2月11日(ルルドの聖母の記念日)に使徒的書簡「サルヴィフィチ・ドロリスー苦しみのキリスト教的意味」を発表し、翌年の2月11日には教皇庁医療使徒職委員会(現・保健従事者評議会)を開設しました。そして1993年からこの日は「世界病者の日」と定められ、毎年教皇メッセージが発表されています。

病者がふさわしい援助を受けられるように、また苦しんでいる人が自らの苦しみの意味を受け止めていくための必要な助けを得られるように、カトリックの医療関係者に対してだけでなく、広く社会一般に訴えていかなければなりません。医療使徒職組織の設立、ボランティア活動の支援、医療関係者の倫理的養育、病者や苦しんでいる人への宗教的助けなども重要な課題です。

司教の手紙

教区の皆様お元気でしょうか? 今回から年頭の辞で発表した「信仰部会」「典礼部会」「宣教部会」にモットーを掲げてそれについて説明していきたいと思ひます。

悔い改めて、福音を信じよ

「悔い改めて」…ある教区の時が来りました。それは古い時代が終焉したという事です。古い時代の歴史のことは、私たちキリスト教徒は、この二つの時代を、新約時代、旧約時代と呼びならわし

信仰部会のモットー

「悔い改めて」…ある教区の時が来りました。それは古い時代が終焉したという事です。古い時代の歴史のことは、私たちキリスト教徒は、この二つの時代を、新約時代、旧約時代と呼びならわし

復活祭の準備に 日々の生活の霊操を

「復活祭に向かって、あなたの祈りを深めよう」とレデンプトール宣教修道女の会のシスターモニカによる「4週間わたる日々の生活での霊操」が教区本部で開かれる。開催日は2月29日から3月28日までの毎週土曜日、午後14時30分から2時間。

毎月第4月曜日に やさしい聖書の黙想会

毎月第4月曜日の午後、やさしい聖書の黙想会がザビエル教会ホールで開かれることになった。この

韓国からの「知恵の泉」主催

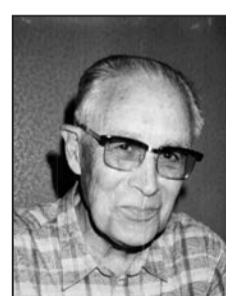
集いを主催するのは韓国から来て、加世田に拠点を置き活動している「知恵の泉」のグループ。

木陰実神父

ベルギー生まれで1973年から12年間、鹿兒島教区で働きました。

復活祭の準備に 日々の生活の霊操を

「復活祭に向かって、あなたの祈りを深めよう」とレデンプトール宣教修道女の会のシスターモニカによる「4週間わたる日々の生活での霊操」が教区本部で開かれる。



参加の条件は、毎日少なくとも30分、個人的に自宅で祈ること。原則として毎週の集会に出席すること。申し込み・問い合わせは、電話099(253)6658シスターモニカまで。

教区人事

▼永山幸弘神父(司祭の家)は教区本部付き。但し居住は旧司教館(司祭の家)。

訃報

▼木陰実神父(司祭の家)は教区本部付き。但し居住は旧司教館(司祭の家)。

土は教区の本柱

土は教区の本柱。教区の日を変更することで、両地区の信者が教区の日と奄美宣教再開の二つの記念日を大切に、互いに交流して欲しいから」とも語った。

復活祭の準備に 日々の生活の霊操を

「復活祭に向かって、あなたの祈りを深めよう」とレデンプトール宣教修道女の会のシスターモニカによる「4週間わたる日々の生活での霊操」が教区本部で開かれる。

土は教区の本柱。教区の日を変更することで、両地区の信者が教区の日と奄美宣教再開の二つの記念日を大切に、互いに交流して欲しいから」とも語った。



土は教区の本柱。教区の日を変更することで、両地区の信者が教区の日と奄美宣教再開の二つの記念日を大切に、互いに交流して欲しいから」とも語った。

Table with 2 columns: Time (13:00-13:30, 13:40-15:10, 15:10-16:00, 16:00-17:00) and Content (賛美, 聖書講義, 内的癒し, ミサ)

島教区で働き玉里教会主任、研修センター所長を務めた淳心会の木陰実(マックス・デュー)神父が昨年12月15日(日)姫路市のマリヤ・ヴィラで心不全のため帰天した。97歳だった。

差別主義と平等主義 (1)

紫原教会主任司祭 山口好信

繰り返しになります。中世以来のヨーロッパ文化と教会の結合というヨーロッパ中心主義の克服」を第二バチカン公会議は目指したのでした。(川村教授)。横道にそれですが、比較のために、封建社会に入っていく時期の日本の対照的な二人の僧侶を考えてみたいと思います。12、13世紀の法然と明恵です。

明恵は聖と俗、僧と俗を分けました。出家僧と在家(俗人)の違いがあり、僧侶も難行苦行を行う僧と、念仏などの易しい行をする僧の違いがあるとし、難行苦行を捨てて、法然は選択しました。なぜなら阿彌陀仏は「平等の慈悲から、あまねく万人を救うために」難行苦行を要求せず、ただ念仏するだけで救

つてあげようと本願を立てられたからです。万人を平等に救おうとして立てられた本願に自らをゆだねて、ただ念仏を称えさせていただくことで救われると信じて生きた。自分を含め万人は等しく凡夫であると考えたからです。阿彌陀仏はそんな万人を平等に救うのだと考えたのです。

も仏の前では平等だと、そういう認識を持って生きたのです。以上のことを踏まえて、袴谷憲昭氏は明恵を「差別主義」、法然を「平等主義」と呼んでいます。さて西欧中世は封建制が徐々にはっきりとした形を取っていった世界です。西ローマ帝国の滅亡後、ゲルマン人の侵入によってゲルマン諸部族の小さな国家群ができていきます。ローマ時代からの古い貴族や大地所有者らは莊園を経営し続けていました。上位の支配者は下位の者に忠誠を誓わせて封土や諸権利を与え、下位の者は主君のため軍役や農業に従事していました。国々は王を頂点に大諸侯・中小諸侯(貴族)・自由民(農民など)・農奴といった階層制(ヒエラルキー)の封建社会となり、教会は教皇を頂点とする司

+KABAYAN SEKSYON+
Mga Konkretong Hamon sa Buhay-Pamilya

Sa Kagalakan ng Pag-ibig(The Joy of Love) sinabi ni Papa Francisco na kinakailangan ng Simbahan na "pagtuunan ng pansin ang mga tunay na kalagayan dahil ang tawag at ang mga hinihingi ng Espiritu ay naririnig sa mga pangyayari sa kasaysayan" (b.31)

Ano ba ang ilan sa mga pangunahing hamon na kinakaharap ng mga pamilya sa kasalukuyan? "Ang pananamlay ng pananampalataya at mga kaugaliang relihiyoso sa ilang mga lipunan ay may epekto sa mga pamilya" (b.43). "Ang migrasyon ay isa pang tanda ng mga panahon na kailangang harapin at unawain kaugnay ng mga negatibong epekto nito sa buhay ng pamilya" (b.46).

Kailangan natin ng tunay na pagmamalasakit sa "mga pamilya ng mga taong may natatanging pangangailangan, kung saan ang hindi inaasahang hamon ng pagharap sa isang kapansanan ay maaaring makasira sa katahimikan, mga hangarin, at inaasahan ng pamilya...Dapat hangaan ang mga pamilyang tumatanggap nang may pagmamahal sa mahirap na pagsubok na dulot ng isang batang may natatanging pangangailangan" (b.47). Dapat na tulong ng Simbahan "ang mga pamilyang nabubuhay sa karukhaan at malalaking kakulangan" (b.49).

Totoong may malalaking hamon; pero nananatiling may pag-asa si Papa Francisco: "Nagpapasalamat ako sa Diyos na maraming mga pamilya, na habang tumatanggap sa kanilang mga kakulangan ay namumuhay naman sa wagas nap ag-ibig, tumutupad sa tawag sa kanila, at patuloy na sumusulong kahit na maraming ulit silang nadadapa sa daan" (b.57)

Taon ng Parokya bilang Komunidad(Fr.Dino Orolfo)

家僧として、在家の俗人に霊的力を注いであげる人として封建社会そのまを肯定して、身分の上下の差を当然として生きました。それに対して浄土宗の法然は、確かに優れた人もいれば劣った人もいるけれども仏の目から見れば万人は等しく罪深い凡夫なのであり、すべての人は仏の目には平等である、よって仏は人を平等に救済しようと望んでいる。僧も俗人・在家

教・司祭・助祭の階層制(ヒエラルキー)であり、その下に一般信徒が位置します。農奴については次回取り上げるつもりです。教会は世俗社会の中に入りこむことによって社会をキリスト教化しただけでなく、身分的な封建制を正当化する役目も果たしたのでした。教会は世俗社会のあらゆる領域に介入し、一般信徒の生活を規律化していくことで、封建社会の階層的な構造をイデオロギー的に正当化して、封建制の確立を促進するとい役目を担ったことを忘れてはなりません。

中世において多数を占めた領邦教会や私有教会では世俗の支配者が司教・司祭を任命しており、聖職売買や聖職者の妻帯は慣習としてあったのですが、教会は自らの自由と権威を増すために、また聖職者と一般信徒の区別を付けるため、それらの慣習を禁止していききました。聖職者身分を中心とするカトリック教会は、

信仰の領域だけでなく、社会のあらゆる現実を解釈し、その是非を判断する権威と権力を独占していきます。特に司教は、種々の特権・寄進・課税・裁判権を持ちますが、その根拠の一つが教会法です。「神からの権威」が「権力」を兼ね備えるようになったので、こうして「宗教が権力として発現する事態」(小田内)となります。のちに異端審問や十字軍が起こる

のも納得できます。西欧キリスト教世界は封建社会から時代と共に社会構造や政体が変わっていったにもかかわらず、封建社会の一部だった教会は、中世とほぼ同じ構造・制度で今日まで来たのです。そしてその中身は差別主義の教会といえます。聖職者は聖の側であり、教え、秘跡を授ける側であり、一般信徒は俗の側で、教えられ授けられる側、その代わりに献金・維持費を教会に納めるというものです。聖俗が厳然と分離した、上下関係すなわちヒエラルキーのある教会です。そこでは信徒はもっぱら「受け身」でした。

のでもしようか。以下は、問題提起とします。第一に、イエスは万人を等しく罪深い存在だと見てはいなかったらうか。またイエスは万人を平等に救済しようとしたのではなくらうか。それとも逆に、人類を何らかの基準で幾つかの集団に分けたのらうか。罪深い人と清い人、救いやすい人と救われたい人とかに。第二に、イエスは、その罪深い人・救われたい人(大部分の人類)を救うために「聖」に属する司祭・司教を立てたのらうか。イエスにそういう聖と俗、僧と俗を分ける考えがあったのらうか。ついでに、以上の二点と重複するでしょうが、第三に、イエスは人類救済のために神と人類の「仲介者である司祭」が必要だと使徒や弟子たちに教えたのらうか。

わたしの信仰体験 第2回 「ご聖体の中のイエス様」



私は神様を知りませんでした。まだ未信者だった時に、私は初めてミサにあずかりました。ある病で苦しんでいる人のために、私はその日、祈りに参加しました。神父様のお導きのもと、集まった皆さんで賛美や聖書朗読、ロザリオの祈りなど半日ほど心を合わせて祈り続けました。

いよいよ神父様のごミサが始まりました。神父様が高くご聖体を掲げて嬉しそうにしています。穏やかな澄んだ声が教会の御聖堂に広がりました。目を閉じていた私でしたが、いきなり心の目に小さなイエス様が現れ、私の目の前を歩いていかれました。私は心の中で「ん？」と驚き、あなたは私が見えるのかね?とお尋ねになつたので、私は目を閉じ「はい」と答えました。すると、イエス様はとて嬉しそうに喜ばれて「そう、おう」と本当に笑顔で「じゃあ、あとで

ね」とおっしゃって鍵穴の形のドアを開けて入って行かれました。「え、今の何?」その鍵の形のドアは神父様の胸のあたりでした。目を開け、私は神父様の胸をミサの間中、ずっと見ていましたが、ミサはそのまま進みました。私は、イエス様がミサの途中に現れたと言っても私の心の目でのことでした。「どうしてミサの途中からイエス様は現れたのか?」「どうして鍵の穴の形のドアが神父様の胸にあるの?」「どうして胸の中に入って行かれたの?」と、初めてあずかったミサなので、何も分からずに混乱していた私はミサが終わると後片付けをしていた姉の上着を引つ張りながら、「ねえねえ、イエス様が現れてね、こんなことがあったのよ。なぜなの?」と、ずっと姉を追いかけてました。まるで子どものように必死に質問を繰り返す、その様子を見聞きしていた教会の大先輩のSさんが「それはね「聖変化」と言います。ご聖体いただいた神父様はイエス様に変化するんですよ。そして、私たちに「ご聖体を渡されるんですよ」と教え

てくださいました。途中からご聖体を掲げてイエス様をいただいた神父様はイエス様に変化したのだと私はわかりました。鍵穴の形をしたドアはご聖櫃のことを表しています。鍵穴の形はご聖櫃という意味という事も教えていただきました。

「イエス様がじゃあ後でね」と話して下さったのも、ご聖体をいただいた私たちにもイエス様が入り、一致するということの後で理解することができました。それから私は直ぐに洗礼を受けました。

あれから私はごミサにあずかりご聖体をいただく度にイエス様を感じ一致する喜びに溢れます。苦しい時、嬉しい時にご聖体をいただける喜びに今の私は幸せです。「おやっ、私が見えるのかね?」と気づいてくださったイエス様、そしてミサ中で「聖変化」をされる神父様、いつもありがとうございます。心から感謝いたします。イエス様は私たちの心にも生きておられます。

「ザビエル教会 久留仙子」

以上、問題提起については次回、考えてみたいと思います。

※袴谷憲昭『法然と明恵』大蔵出版、町田宗鳳『法然対明恵』増田四朗『西洋中世世界の成立』小田内隆『異端者たちの中世ヨーロッパ』、その他参照

立て、行こう！高校生と韓国巡礼②

青少年司牧担当司祭 李ビヨンドク 李秉徳 (ザビエル教会助任)

二日目の始まり、ミサと食事の苦しみ

二日目①

二日目は午前6時30分に始まった。「学生たちは疲れていて、遅れるだろう」という私の予想と違って、皆、生き生きとした顔で、私より先に、ロビーに出て待っていた。驚きの連続だ。車に乗り、私の家に向かった。そして始まったミサ。学生たちの顔はさらに活気に満ちた。確かに、マリア様の助けで、神様が一緒におられると感じた。ミサの時間中、母はミサに集中しないで、ずっと学生たちの姿を写真に撮っていた。

後で話を聞いてみたら、「学生一人ひとりが天使のようで、自分も知らないうちに写真を撮っていた」と言った。「周りの人々に会えば、その写真を喜んで見せている」と話した。ミサの後の食事時間、学生たちは私に話をしなかったが、苦しんだらしい。母は手が

大きい人(韓国では食べ物の量の調節ができず、たくさん準備する人を意味)朝からものすごい量を準備して学生たちにふるまった。その結果、それを全部食べた学生たちは一日中、食べ物をおそれるようになった。



江華島に二日目② ミサと朝食が終わった後、江華島に向かった。目的地は仁川カトリック神学大学、甲申聖地、江華平和展望台、チョヨン紡織。車で1時間30分ほど走って仁川カトリック神学大学に着いた。神学大学で仁川教区の教区長チョン司教様に会った。彼は私たちに1分の挨拶をしようと、40分くらい待たされた。短い挨拶の後、学生たちに1時間くらいと書い、「神様に言いたいことを書いて下さい」と言った。それはその夜に書いたのだ。赦しの秘跡の時に聞いたが、彼らは、本当に誠実に書いた。どんなことをしても尽くす学生たちだ。神学大学での時間が終わった後、3番目のメニュー「ジャージャー麵」を食べに行った。結果は失敗。「サイダーが一番おいしい」と言った。自信を持って準備したメニューだったのに。振り返れば、夕食で食べた焼きうなぎも彼らの口に合わなかった。一緒に食べた味噌が一番おいしい

と言った。二日目の食事は全部失敗だった。次のコースは甲申聖地、殉教聖人のお墓がある場所。そこで学生たちはロウソクを奉獻して、静かに祈る時間を持った。どんなお祈りをささげたのか知りたかったが、聞かなかった。それは、移動する車中での雰囲気は語っていた。車中の雰囲気はますます明るくなった。私は学生たちが何を言っているのかまったく分からなかったが、学生たちの対話の内容は次々と変わり、私の知らない歌を歌った。私は、全然分からなかった。その歌が韓国の歌だったという事実さらに驚いた。

三番目のコース、江華平和展望台に到着した。そこは、北朝鮮を見ることができると言われている。山上にあって、暑い日、そこへ行くのは嫌だったが、力強く登る学生たちが隣にいたので、私の気持ちを話さなくて登った。学生たちは、北朝鮮がそれほど近くにあることに驚いた。そこを見て下りて来た時、一人の学生が、「メディアで話すことがすべてではないことに気づいた」と話した。私がつらくて考えられなかったことを、その女子学生は思っていたのだ。

飲料水一つずつを持ってそこを下って、四番目のコース「チョヨン紡織」に着いた。そこは、単なるカフェではなく、軍部独裁に對抗して、神父たちが労働者の人権のために活動した工場だった。そこで私たちは写真撮ってジュースを飲みながら、休みを取った。私が、メニューの選択に失敗した夕食を食べて江華島を後にし、遊園地に寄って宿泊所に戻った。

神聖で、嬉しい夜 二日目③ 宿泊所に到着した時間は、昨日と似たような時間だった。予定より遅れたが、赦しの秘跡があった。学生たちの告白は新鮮でダイナミックで面白かった。その内容は絶対言えないので書けないが、こんなに嬉しく赦しの秘跡を授けたのは、私にとって大事な経験だった。その喜びの中で二日目が終わった。

「天の国は力づくで襲う者がそれを奪い取る」として、悔い改めの洗礼よりも自分たちの権威や神殿への献金の方が重要であったからです(3・11参照)。「天の国の教えの新しい」とは、イエス様の「天の国で最も小さな者

「神の救い」とは曖昧なものでした。このことについては復活があるかないかでフアライサイ派とサドカイ派が激しく争っていたことから分かります(マタイ22・

23、使徒23・8参照)。これに対して洗礼者ヨハネは、イエス様の死と復活を通じて証しされる天の国に於ける永遠の命、即ち、真の救いのことをイエス様

「天の国は力づくで襲う者がそれを奪い取る」として、悔い改めの洗礼よりも自分たちの権威や神殿への献金の方が重要であったからです(3・11参照)。「天の国の教えの新しい」とは、イエス様の「天の国で最も小さな者

でも、彼よりは偉大である」という言葉に集約されています(11・11)。この地上に於いて人間としては最も偉大であっても天の国では最も小さな者であるとは、天の国はこの世の延長ではない、ということの意味を意味します。往々にして私たちは、この世での報いが天の国でもたらされる、と考えてしまいがちです。しかし、イエス様はそのようなことは必ずしもない、ということはこの言葉によって弟子たちに教え諭されているのです。この続きは次回に。

でも、彼よりは偉大である」という言葉に集約されています(11・11)。この地上に於いて人間としては最も偉大であっても天の国では最も小さな者であるとは、天の国はこの世の延長ではない、ということの意味を意味します。往々にして私たちは、この世での報いが天の国でもたらされる、と考えてしまいがちです。しかし、イエス様はそのようなことは必ずしもない、ということはこの言葉によって弟子たちに教え諭されているのです。この続きは次回に。

でも、彼よりは偉大である」という言葉に集約されています(11・11)。この地上に於いて人間としては最も偉大であっても天の国では最も小さな者であるとは、天の国はこの世の延長ではない、ということの意味を意味します。往々にして私たちは、この世での報いが天の国でもたらされる、と考えてしまいがちです。しかし、イエス様はそのようなことは必ずしもない、ということはこの言葉によって弟子たちに教え諭されているのです。この続きは次回に。

志布志教会を飾った馬小屋



ベトナムの青年たちが作製

会と催し	2月
1日(土)	奉獻生活者のためのミサ・カテドラル・14時
2日(日)	主の奉獻
4日(火)	みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時
5日(水)	ボツフィ神父命日(1988年)
5日(水)	日本26聖人殉教者
9日(日)	中野アカデミー・教区本部・19時
9日(日)	年間第5主日
11日(火)	世界病者の日
12日(水)	国分教会及び幼稚園50周年記念式典・10時
13日(木)	中野アカデミー・教区本部・19時
13日(木)	ハンマ神父霊名(ヨルダン)
14日(金)	出口市太郎神父命日(1958年)
15日(土)	パストラルケア・教区本部・14時
16日(日)	年間第6主日
17日(月)	奄美大島の宣教司牧を考える会
17日(月)	レデンプトリオン例会
18日(火)	奄美大島地区司祭会
22日(土)	聖ペトロの使徒座
23日(日)	教区シノドス部会・教区本部・12時
23日(日)	年間第7主日
24日(月)	オリブの会・教区本部・14時
25日(火)	鈴木康由神父叙階記念(2013年)
26日(水)	「教区の日」記念ミサ・カテドラル・19時
26日(水)	灰の水曜日(大斎・小斎)
27日(木)	四旬節愛の献金(四旬節中)
27日(木)	中野アカデミー・教区本部・19時
27日(木)	カトリック大隅学園理事會・教区本部・10時
27日(木)	東條一浩神父命日(2001年)
27日(木)	【司教日程】1日奉獻生活者のためのミサ、9日ラサール学園卒業式、11日国分教会及び幼稚園50周年記念式典(国分)、13日大口明光学園理事會、14日カトリック幼稚園連盟役員會、16日奄美大島の宣教司牧を考える会、17日21日司教總會(東京)、22日教区シノドス部會

祈りの意向

【祈祷の使徒會】 世界共通 日本の教会 移住者の叫びに耳を傾ける 子どもたち

ウガンダの旅2018 訪問地の最後 ⑫

谷山教会信徒 岩崎正幸

ワールド・ビジョン・ジャパンを通じて貧しい国の子どもの支援を続けているラ・サール学園教諭の岩崎正幸さんは、一昨年夏、支援している子どもがいるウガンダを訪問した。これは生徒のためにと執筆した「ウガンダの旅2018」の12回目。

農家訪問のあと一度、事務所へ戻る。そこで昼食。昨日ナフリラちゃんたちといっただいたメニューとほぼ同じ。アボガドがあった。ジンジャーエールもこちらではめずらしかつた。ジンジャーの味が結構強烈であった。

昼食のあと、いよいよ最後の訪問地、ナラウエヨ小学校へ。またまた子どもたちの歓迎の歌と踊り。歌の内容は、

「歓迎して学校へ行くことは大切さ、そして、結婚するのは学校を卒業してから、というふうなこと。このあたりは女の子の早婚の問題がまだあるらしい。明治時代の日本のようなのだ。」



ナラウエヨ小学校の子どもたち、はだしの子どもたちも

と言われているのだろうか。わたしたちの席はいっぱい空いていて、子どもたちはぎゅぎゅと詰めて。別に隣り合っ

て座ったって何も問題は無いので、こつちへおいで、と手招きする。はじめはためら

うが、隣に座った女の子がさかんに声をかけてくる。「なんていう名前？」として

「また、なんていう名前？」と聞いてくる。マサユキを3回くらい言ってもわかって

教区の日記念ミサ

知牧区から司教区への昇格の日

日 時：2月25日 (火)
場 所：午後7時
場 所：ザビエル教会大聖堂

つたら「ああジョンなのね」と納得してくれた。わたしのクリスチャンネームはヨハネなので、英語だとジョンとなる。間違いないのだ。

この小学校ではクラブ活動の一環として、農作物の栽培、その給水のためのペットボトルの活用、という説明を受けた。日本でもめずらしいことじゃないと思うけど。

「正義」という語は、日本語として通用しない教

KJJP (鹿兒島正義と平和協議会) 通信 2月号

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

ツアー参加者から来た。たとえば、水運びにリアカーを寄

一番うしろの列で聞いていたら、いつのまにかわたしの

「まっすぐ」という直線のイメージで語っているわけ

「まっすぐ」という直線のイメージで語っているわけ

「まっすぐ」という直線のイメージで語っているわけ

「まっすぐ」という直線のイメージで語っているわけ

短歌

国分教会 市来房枝
賜はりし教皇さまの
カレンダー日々捲り
つつ心めり
穏やかな新天皇の表
情に皇后さまへの労
り見ゆ

戻る。帰りは車のトラブルなく、5時ごろ着いた。

約束していたカトリック教会訪問へ。運転手のパトリックさんに連れて行つて

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

「正義」という語は、日本語として通用しない教

ユースカトリックキャンプ (YCC) テーマ「教皇フランシスコ」

日 時：3月27日(金)～30日(月)
場 所：日向学院海の家 (日南市)
申込締切：2月29日
問合わせ：岩崎正幸 (ラサール高校) TEL.099 (268) 3121

を想うなんてなおさらで、不可能に近い。その理由について結論だけをいいますと「正義」「公正」「公平」という語には、その字義を学ぶとき、その背後に「人を支配したい」という権力欲が潜んでいるように思えてくるということ。神に背を向ける心の存在です。神と隣人との親しい交わりを「まっすぐな心」を意味するツエデク、ツエダーカーに相応しい日本語はないものか、そのことを探したいと切に思う今日この頃です。(正平協会員 上坪憲治)

社会問題の分かち合い

日 時：2月15日(土) (毎月第三土曜日) 13時～16時
場 所：教区本部
内 容：原発・改憲・沖縄問題についての情報交換その他